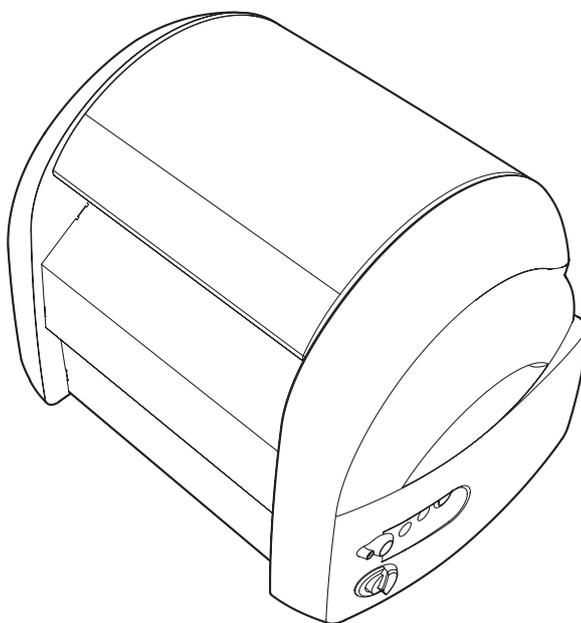


CPM-200

取扱説明書

BePop



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。



目次

必ずお読みください

はじめに	3
本書の表記について	3
ご使用上の注意	4
免責事項	4

CPM-200について

5

商品仕様	5
CPM-200でできること	6
編集ソフト「Bepop PC EX」の主な機能	6

お使いになる前に

同梱品	7
各部の名称	7
キーの主な機能	7

専用消耗品について

8

本体の準備

シートをセットする	9
インクリボンカセットをセットする	10
インクリボンの交換方法	11
カッティングツール(刃)をセットする	13
カット圧を調整する	14
オフセット値を設定する	15
電源ケーブルをつないで電源を入れる	16
パソコンと本体をつなぐ	17

お手入れのしかた

18

ソフトウェアのインストール

インストール前にお読みください	19
「Bepop PC EX」とプリンタドライバのインストール	20
CPM-200 本体のIPアドレス設定	25

まず使ってみましょう

ラベルレイアウトを作成する	27
1 Bepop PC EXを起動させる	27
2 シンボル (ピクトサイン) を入れる	28
3 文字を入力する	28
4 カット枠を挿入する	29
5 印刷する	29
シートの残量を確認する	30
印字濃度を調整する	31
切り文字 (カッティング) レイアウトを作成し、カットする	32
カットした文字を貼り付ける	33

アンインストールの方法

「Bepop PC EX」のアンインストール	36
プリンタドライバのアンインストール	37

Bepop-netを利用する	37
----------------	----

こんなときは	38
--------	----

必ずお読みください

はじめに

この度は、CPM-200をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本機は、看板・案内表示といった表示物やカラフルで高画質なラベルをどなたでも簡単に作れる、200mm幅の表示・ラベル作成機です。未永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただけますようお願い申し上げます。

本書の表記について

■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。表示の意味は次の通りです。

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性及び物的損害のみが発生、また、作成したデータが消失する可能性が想定される内容を示しています。

■絵表示について

 「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 注意内容 です。	 「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 禁止内容 です。	 「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 指示内容 です。
---	---	---

お願い

本機が故障し、修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書かれています。



操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書かれています。



説明のページが異なる場合に参照するところが書かれています。

ご使用上の注意

警告

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない
故障や、火災、感電、けがの原因になります。 ●シート出口部には、絶対に手や物を差し入れない
機械の故障の原因になるばかりでなく、身体上の危険を生じることがあります。 ●電源コードは必ず付属のものを使用する
火災・感電の原因になります。 ●電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしない
火災の原因になります。 ●電源コードを加工しない
火災、感電の恐れがあります。 ●電源コードの上に重いものを絶対にのせない
コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。 ●電源コードは、束ねたまま使用しない
発熱により、火災や故障の原因になります。
必ずほどいてご使用ください。 ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の恐れがあります。 ●水に濡れた手、衣服のまま本機の操作をしない
感電の恐れがあります。 ●コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしない
火災や故障の原因になります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く
コードが破損して火災や感電の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●水、薬品などが本機にかからないようにする
万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると故障や、火災、感電の原因になります。 ●故障のまま本機を使わない
煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。
すぐに電源コードをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●本機は絶対に分解または改造しない
火災、感電、故障の原因になります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●電源は定格内のコンセントを使用する
定格外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。 ●必ずアース接続を行う
万一、漏電した場合に、火災、感電の恐れがあります。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差す前に行ってください。アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 ●電源プラグは定期的に清掃する
長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。 ●カuttingツール（刃）は、お客様の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。 |

注意

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●本機は必ず水平に設置する。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しない
倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。 ●直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態での使用は避ける
動作が不安定になることや、本機故障の原因になります。 ●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しない
電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。 ●USB、LANコネクタには直接手で触れない
静電気により故障の原因となることがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●長期間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜く ●設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う
電源プラグをコンセントに差したまま移動させるとプラグやコードが傷つき、火災や感電の原因になります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●プリントヘッドには絶対にさわらない
印刷直後のプリントヘッドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れがプリントヘッドの故障の原因になることがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●本機内部に粘着シート、インクリボン、異物等がはさまるなどで、印刷やハサミが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除く
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。 ●ドアカバーの開閉時には、手等をはさまないように注意する ●本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体の底面を持って運ぶ
けが、故障の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●パソコンに保存した内容は、永久的な保存はできません
故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 | <ul style="list-style-type: none"> ●カuttingツール（刃）の交換時には、必ず電源を切る
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。 ●カuttingツール（刃）の刃先は非常に鋭利なため充分注意する
けがをする恐れがあります。さわらぬようご注意ください。 |

免責事項

本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、およびこれにより生じた2次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

CPM-200について

商品仕様

商品名	CPM-200	
プリント部	印字方式	熱転写方式
	印字密度	300dpi
	印字速度	25mm/sec.
カッティング部	分解能	0.025mm
	カッティング速度	最大120mm/sec. (軸方向)
最大出力範囲	200×2,000mm	
インターフェイス	USB2.0 LAN 100baseTX	
使用環境	温度：10～35℃（プロセスカラーは25℃推奨） 湿度：35～80%（ただし結露しないこと） 湿度60%以上は27℃以下を推奨	
電源入力	AC100V 50/60Hz	
定格電流	2A	
外形寸法	W425×D315×H315mm	
質量（本体のみ）	15.5kg	

※デザイン・仕様などについては、将来予告なしに変更することがあります。

■VCCIについて

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しくお取扱いください。

CPM-200でできること

- 編集ソフト「Bepop PC EX」で作成した文字、図形、シンボルなどを専用シートに専用インクリボンで印刷し、フリーカットすることによって、カラフルで自由な大きさ・形の表示、ラベルを作成できます。
- 単色インクリボン（黒、赤、青、深緑、黄、オレンジ）を使用して、最大6色+透明（印字しない設定）のカラー（多色）印刷ができます。
- プロセカラーインクリボン（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）を組み合わせ、写真画像やカラフルなイラスト、単色リボンにないカラーを表現できます。
- パソコンに搭載されたTrueTypeFontを使用して、ラベルだけでなく切り文字（カッティング）ステッカーを作成できます。
※一部のTrue Type Fontでは、書体データの作成方法に起因して正しくカットされない場合があります。
- 最大200×2000mm（2分割作画時：最大390×2000mm）の表示物を作成できます。

編集ソフト「Bepop PC EX」の主な機能

- 表示作成に適したマックスオリジナルの太丸ゴシック書体、太角ゴシック書体が標準で搭載されています。
- Unicodeに対応しているため、外国語の書体を使用することができます。
※書体によっては正常に表示されなかったり、正常にカッティングできない場合があります。
- 300種以上のシンボルマーク、絵文字やイラストなどがあらかじめ登録されています。
- 例文の文字だけを変更して簡単に表示物を作成できるテンプレート（例文集）が搭載されています。
- JPEG、BMP、GIF形式等の画像ファイルやExcel、Word等の文書ファイルを取り込み印刷できます。
- CSV形式のファイルからデータの差込印刷ができます。
- JAN、CODE39、QRコードなど10種類のバーコードを印刷できます。
- DXF形式のファイルをインポートすることができます。（プリントのみ）

MEMO

編集ソフト「Bepop PC EX」の操作マニュアルについて

編集ソフト「Bepop PC EX」の取扱説明、詳細につきましては、ソフトと同時にインストールされる「Bepop PC EX操作マニュアル」をご参照ください。「Bepop PC EX操作マニュアル」を参照するには、お使いのパソコンにPDFファイル閲覧ソフト（Adobe Reader）がインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、下記URLより入手し、インストールしてください。

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

[Bepop PC EX操作マニュアルの参照方法]

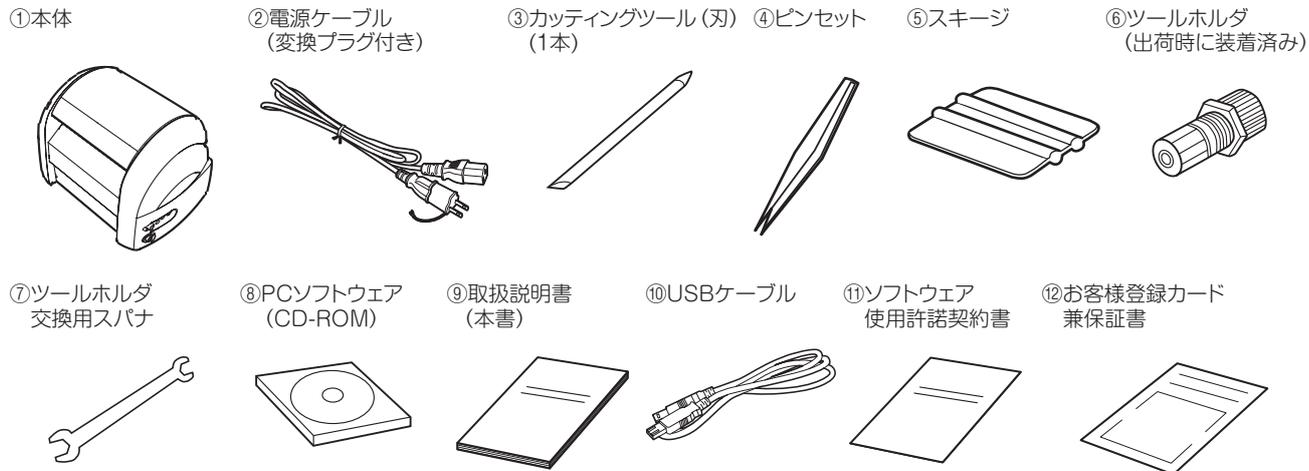
Bepop PC EX起動後、メニューバーの「ヘルプ」→「Bepop PC EXマニュアル」を選択してください。Adobe Reader が起動し、「Bepop PC EX操作マニュアル」が表示されます。



お使いになる前に

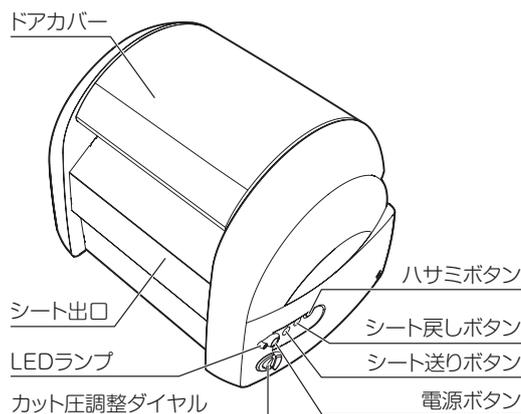
同梱品

箱を開けて、下記のものがすべて揃っていることを確認してください。

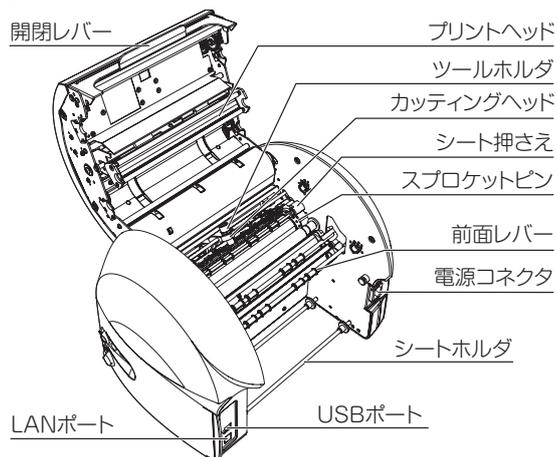


各部の名称

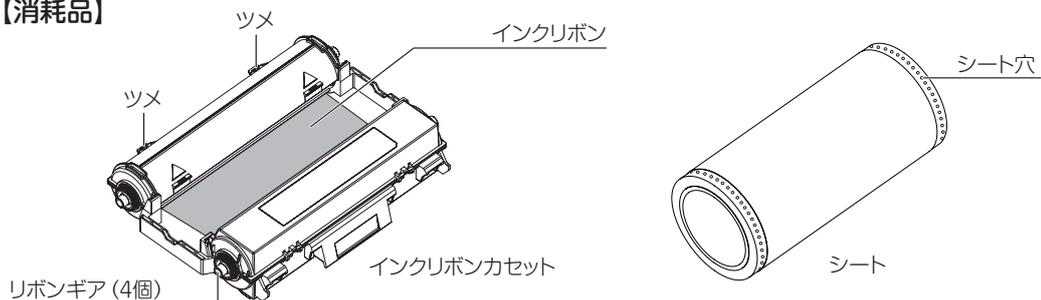
【本体前面】



【本体背面】



【消耗品】



キーの主な機能

- 電源ボタン : 電源のON/OFFをするボタンです。
- LEDランプ : 電源がONの時、緑色で点灯します。
エラー状態の時、赤色で点灯または点滅します。
(エラーの詳細についてはPC画面に表示されるステータスマニタの内容をご確認ください)
- シート送りボタン : 押し続けている間、シートを送ります。
- シート戻しボタン : 押し続けている間、シートを戻します。
- ハサミボタン : シートをフルカットします。

専用消耗品について

正しく印刷、カットするために、CPM-200には、必ず下記の専用消耗品をお使いください。

■専用インクリボンカセット (詰替式)

	品番	商品名	入数	ご案内・注意事項
単色 インクリボン	IL90151	SL-R201T クロ	50m × 1 巻	<ul style="list-style-type: none"> ●本インクリボンカセットは詰替式です。リボン交換の際は、下記の詰替用インクリボンをお求めください。 ●リボン交換 10 ~ 15 回を目安に新しいインクリボンカセットをご使用ください。カセットが消耗すると印字不良の原因となります。 ●単色インクリボンのクロ、キイロをプロセスカラーのブラック、イエローで代用したり、プロセスカラーのブラック、イエローを単色のクロ、キイロで代用すると正常に色を再現できませんので、ご注意ください。
	IL90153	SL-R203T アカ	50m × 1 巻	
	IL90154	SL-R204T アオ	50m × 1 巻	
	IL90155	SL-R206T フカミドリ	50m × 1 巻	
	IL90156	SL-R208T キイロ	50m × 1 巻	
	IL90157	SL-R212T オレンジ	50m × 1 巻	
プロセスカラー インクリボン	IL90158	SL-R215T シアン	50m × 1 巻	
	IL90159	SL-R216T マゼンタ	50m × 1 巻	
	IL90161	SL-R217T イエロー	50m × 1 巻	
	IL90162	SL-R218T ブラック	50m × 1 巻	

■詰替用インクリボン

	品番	商品名	入数	ご案内・注意事項
単色 インクリボン	IL90163	SL-TR201T クロ	50m × 1 巻	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品のみでの使用はできません。必ず上記専用インクリボンカセットにセットしてご使用ください。 ●単色インクリボンのクロ、キイロをプロセスカラーのブラック、イエローで代用したり、プロセスカラーのブラック、イエローを単色のクロ、キイロで代用すると正常に色を再現できませんので、ご注意ください。
	IL90165	SL-TR203T アカ	50m × 1 巻	
	IL90166	SL-TR204T アオ	50m × 1 巻	
	IL90167	SL-TR206T フカミドリ	50m × 1 巻	
	IL90168	SL-TR208T キイロ	50m × 1 巻	
	IL90169	SL-TR212T オレンジ	50m × 1 巻	
プロセスカラー インクリボン	IL90170	SL-TR215T シアン	50m × 1 巻	
	IL90171	SL-TR216T マゼンタ	50m × 1 巻	
	IL90172	SL-TR217T イエロー	50m × 1 巻	
	IL90173	SL-TR218T ブラック	50m × 1 巻	

■専用シート

	品番	商品名	入数	ご案内・注意事項
カッティング & プリント用	IL91886	SL-S201N クロ	10m × 2 巻	<ul style="list-style-type: none"> ●必ず左記の専用シートをご使用ください。専用以外のシートでは、正常な出力結果を得られない場合があります。 ●クロ、アオなど色の濃いシートは印刷には適していません。プリントでご使用の場合はシロまたはキイロをおすすめします。プロセスカラー印刷の際は必ずシロをご使用ください。
	IL91887	SL-S202N シロ	10m × 2 巻	
	IL91888	SL-S203N アカ	10m × 2 巻	
	IL91889	SL-S204N アオ	10m × 2 巻	
	IL91890	SL-S205N キイロ	10m × 2 巻	
	IL91891	SL-S206N ミドリ	10m × 2 巻	

■転写用アプリケーションシート

	品番	商品名	入数	ご案内・注意事項
転写用	IL99604	SL-S200AP	20m × 2 巻	●カッティングした文字や図形 (切り文字) を転写して対象物に貼るためのシートです。

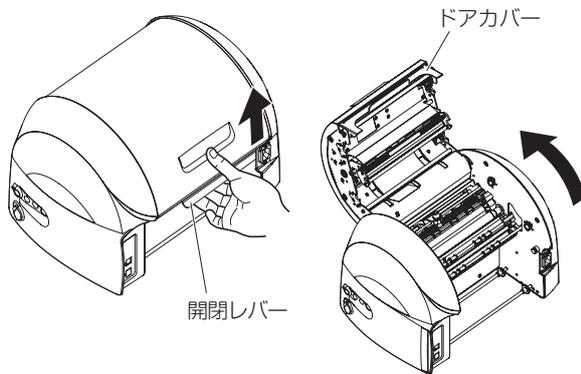
■カッティングツール (替刃)

	品番	商品名	入数	ご案内・注意事項
カッティング用	IL99510	CM-100CC	2 本入り	●刃の寿命はカット距離で約 3,000m です。

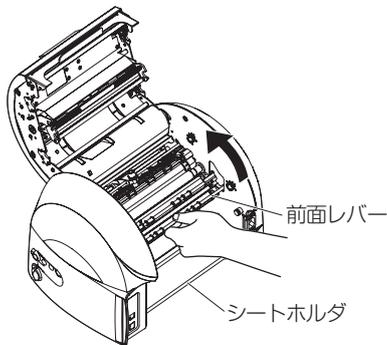
本体の準備

シートをセットする

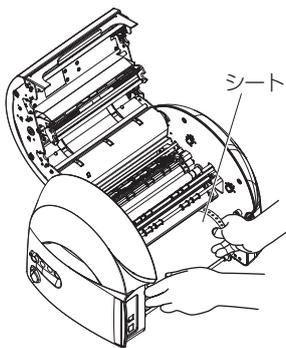
1 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



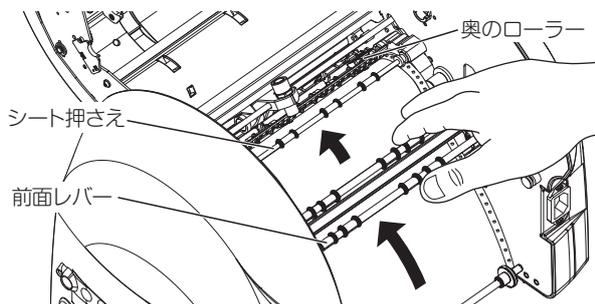
2 前面レバーを持ち上げます。



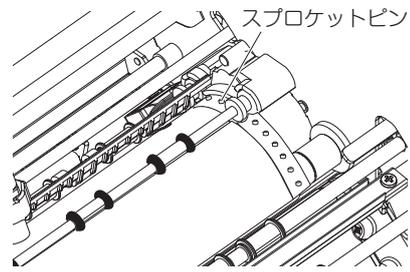
3 シートホルダにシートをのせます。



4 シートを前方に引き出し、前面レバーの下を通した後、4つのローラーがついたシート押さえの下を通します。さらに、奥のローラーまでシートを送ります。



5 左右のスプロケットピンとシートの穴を合わせます。

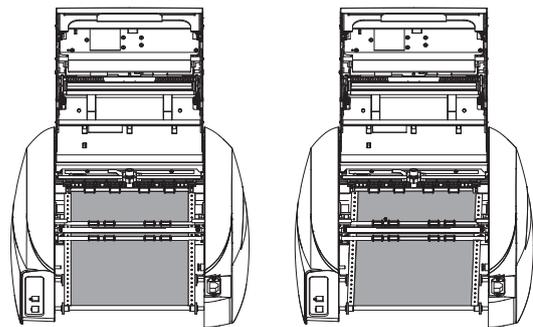


シートの穴を確実にスプロケットピンに差し、シートはまっすぐにセットしてください。スプロケットピンが穴に差さっていなかったり、左右でずれていたりとするとシートが正しく送られません。

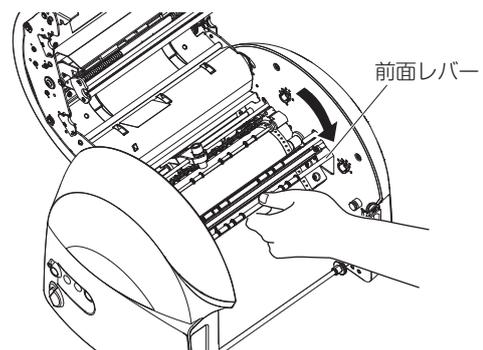
シートはまっすぐセットする

○

×



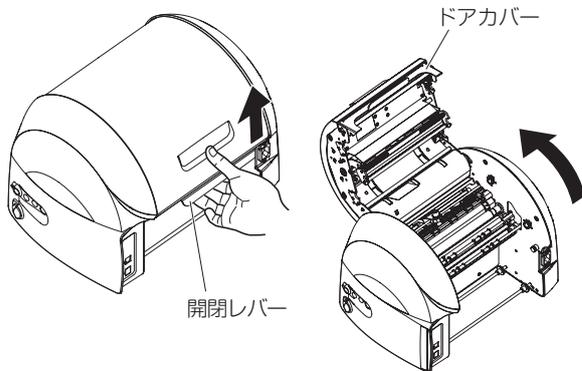
6 前面レバーを下げてシートをおさえます。



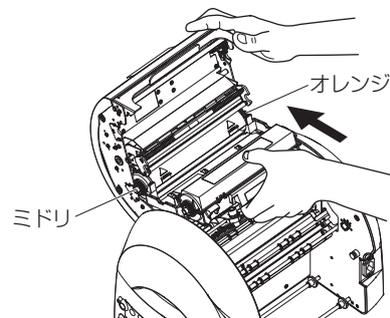
7 「カッチン」とロックがかかるまでドアカバーを閉めます。

インクリボンカセットをセットする

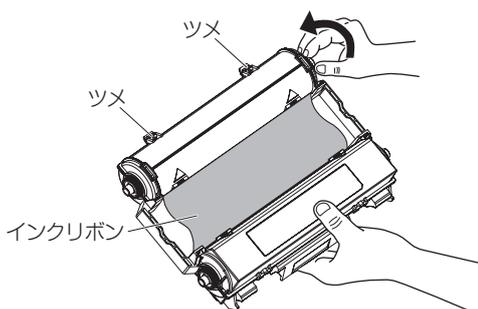
1 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



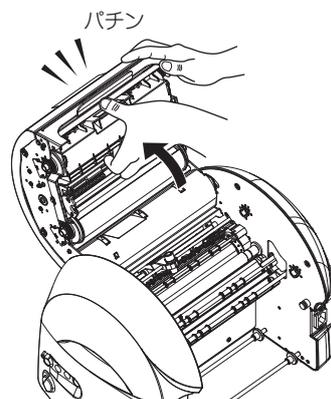
3 インクリボンカセットのツメをドアカバー裏の溝に合わせ、差し込みます。このとき、リボンギアの色と本体の部品の色が合うように取付けてください。



2 インクリボンのたるみを確認します。インクリボンがたるんでいる場合、インクリボンカセットを下図のように持ち、リボンギヤを矢印方向へまわし、インクリボンのたるみを取ってください。

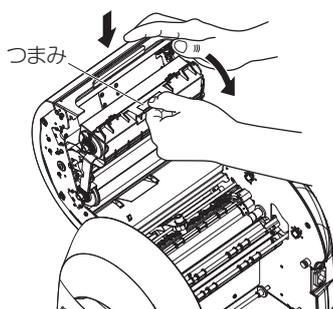


4 ツメを支点として上方に回し入れ、「パチン」と音がするまでしっかりと押し込みます。

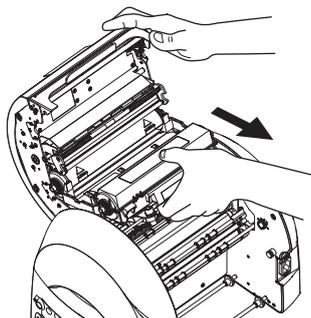


本体からインクリボンカセットを取り外す

1 ドアカバーを開け、インクリボンカセットのつまみを持ち、手前に引きます。



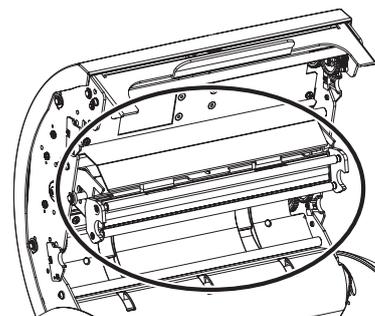
2 カセットを下方に回した後、引き抜きます。



⚠ 注意

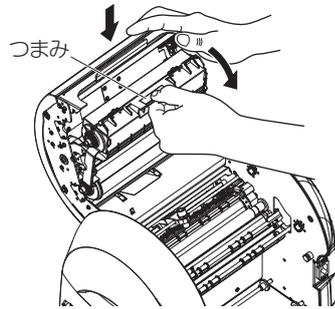


プリントヘッドには手を触れないやけど、故障をする恐れがあります。

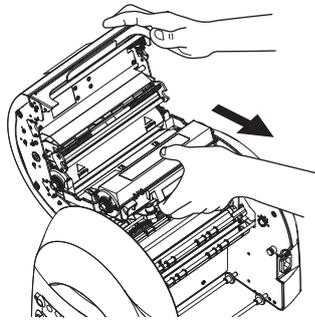


インクリボンの交換方法

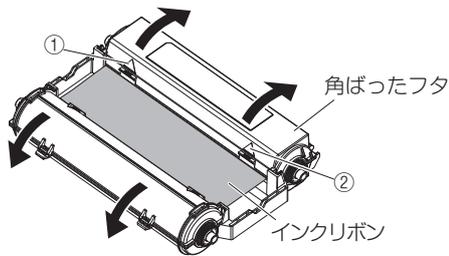
1 ドアカバーを開け、インクリボンカセットのつまみを持ち、手前に引きます。



2 カセットを下方に回した後、引き抜きます。

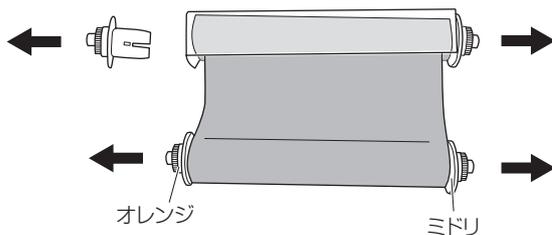


3 カセットのフタを開け、インクリボンを取外します。



フタが開きづらい場合は①、②の順に1カ所ずつ手をかけて開けてください。

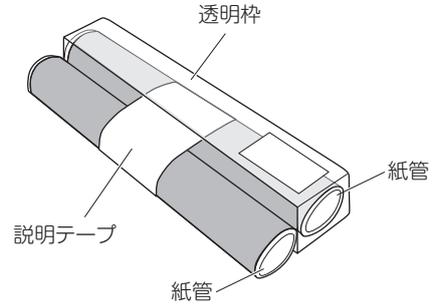
4 インクリボンからリボンギア4個（オレンジ2個、ミドリ2個）を取外します。



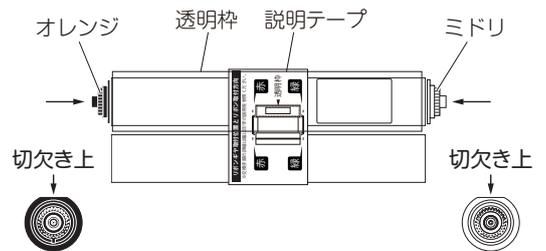
オレンジとミドリは形状が異なります。



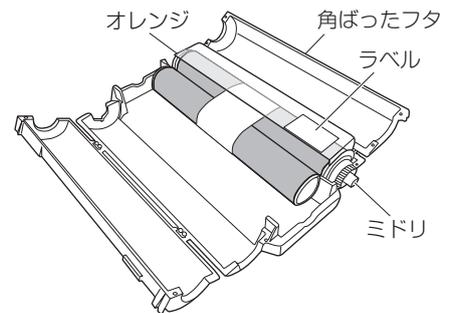
5 新しいインクリボンを準備します。



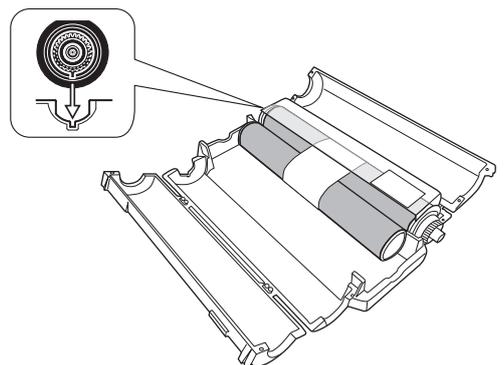
6 透明枠側の紙管にリボンギア2個（オレンジ1個、ミドリ1個）を取付けます。このとき、各リボンギアは切欠きが上になるように取付けてください。



7 インクリボンの透明枠側を下図のように角ばったフタ側カセットに取付けます。

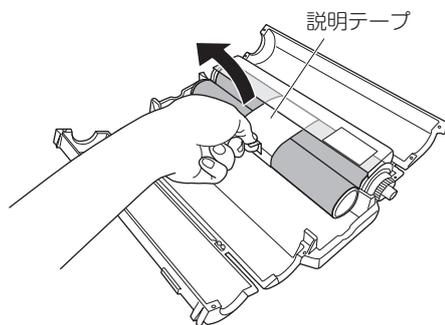


このとき、オレンジのリボンギアの凸部をカセットの凹部にしっかりとめ込んでください。



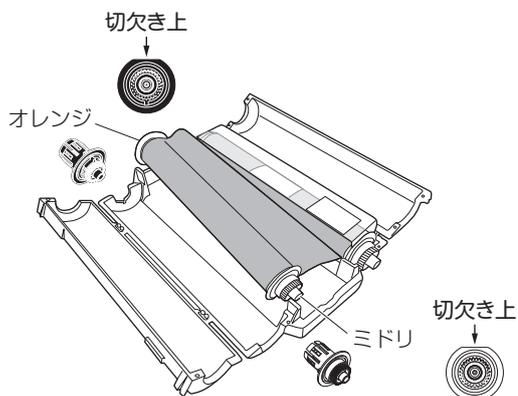
8

説明テープを取外します。

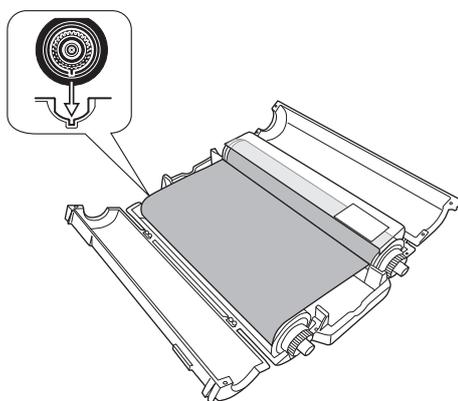


9

もう一方の紙管にリボンギア2個 (オレンジ1個、ミドリ1個) を取付けます。このとき、各リボンギアは切欠きが上になるように取付けてください。

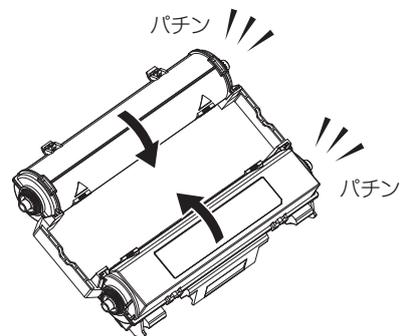


インクリボンをかセットに取付けます。このとき、オレンジのリボンギアの凸部をかセットの凹部にしっかりとめ込んでください。



10

カセットのフタを「パチン」と音がするまでしっかりと閉めます。



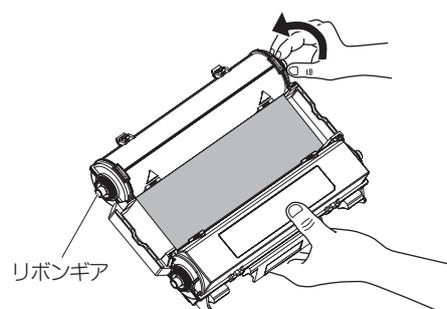
フタが閉まらないとき

7 9 にて以下を確認してください。

- 透明枠が正しい方向に取付けられていますか
- オレンジのリボンギアの凸部はカセットの凹にしっかりとハマっていますか

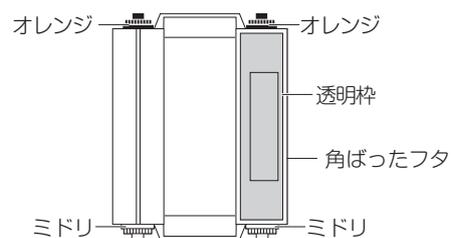
11

インクリボンの色が全面に出るまでリボンギアを矢印方向に回します。



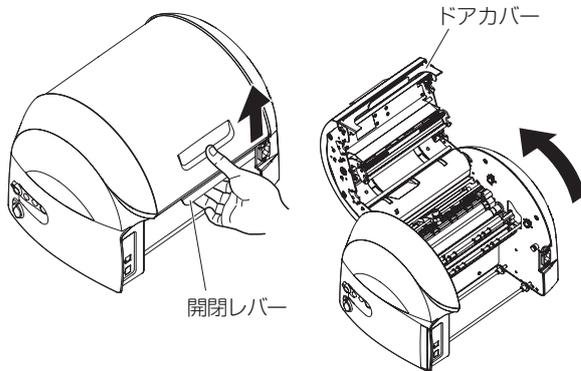
12

リボンギアが正しい向きに取付けられているか確認します。

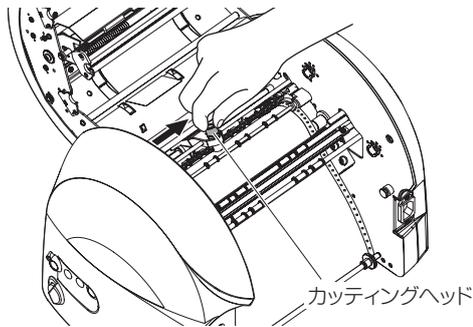


カッティングツール(刃)をセットする

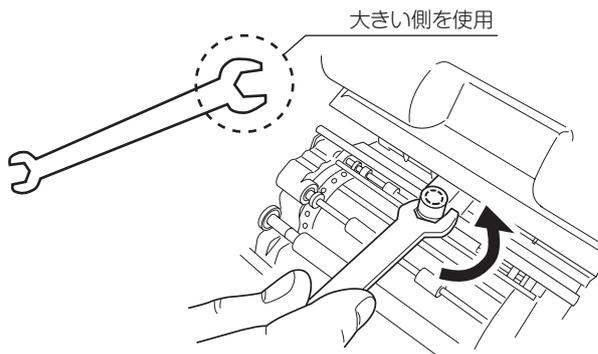
1 電源がOFFになっていることを確認し、開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



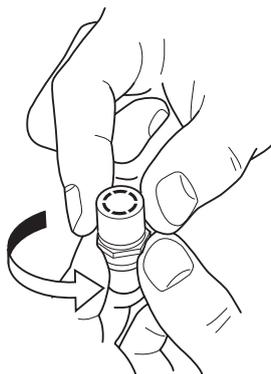
2 ツールホルダが付いたカッティングヘッドを手で中央に移動させます。



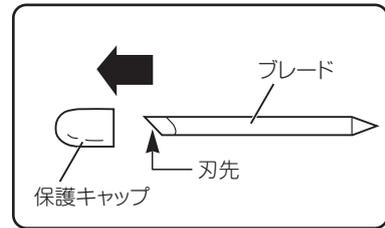
3 付属のスパナを使用してツールホルダを反時計方向に回し取外します(スパナは大きい側を使います)。



4 取り外したツールホルダのキャップ(上部)を反時計方向に回し取外します。



5 カッティングツール(刃)を用意し、保護キャップを外します。

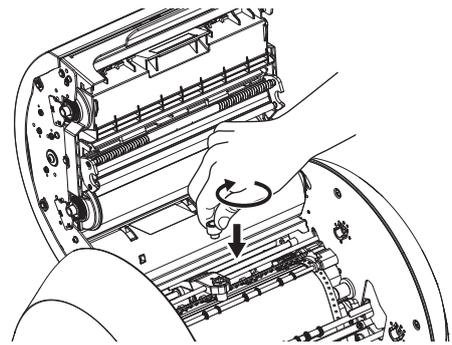


6 刃先(保護キャップがついていた側)を下にして、ホルダ中央に軽く差し込みます。
※交換のときは古い刃を先に抜き取ります。



7 ホルダキャップをしめます。キャップをしっかりしめると刃先が適切な出量になります。

8 ツールホルダをカッティングヘッドに手でしめこみます。



警告

カッティングツール(刃)は、お子様の手の届かないところに保管する。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

注意

カッティングツール(刃)の装着脱時は、必ず電源を切る。機械が不意に動作したときにケガの原因になります。刃の先端部は、けがをする恐れがありますので触らない。

カット圧を調整する

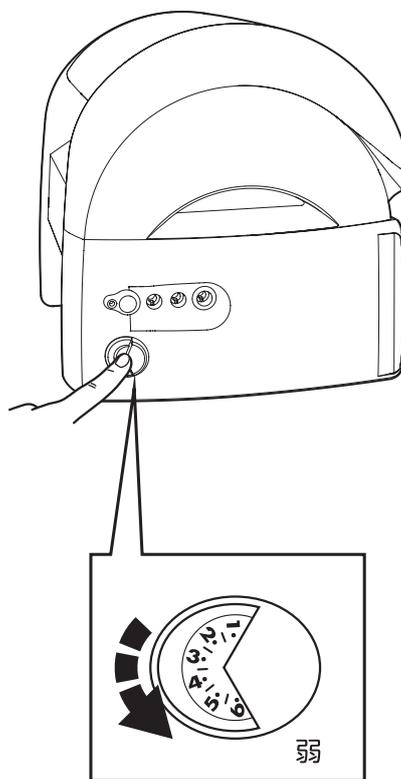
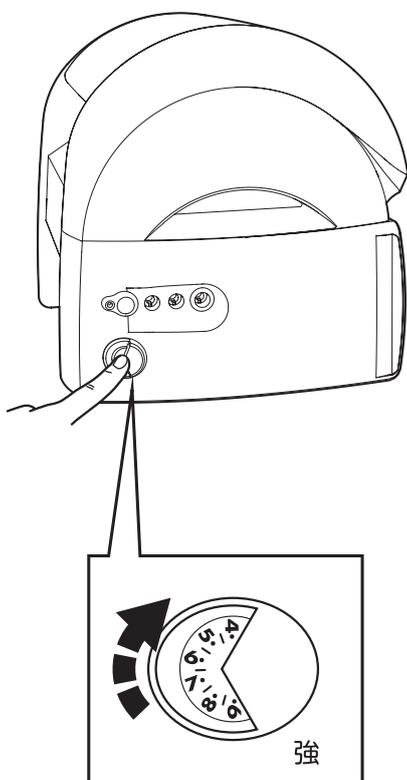
刃先の圧力(カット圧)を変えることで切り込みの深さを調整します。

シートの種類、気温等により切れすぎたり、切れなかったりする場合がありますので、ご使用前に試し切りをおこない、カット圧を調整することをお勧めします。

シートの台紙に少し跡がつく程度が適正なカット圧です。

- シートが切れておらず、うまくはがれない場合は、カット圧が弱い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ大きな値にしてシートが切れるように調整してください。

- シートの台紙まで切れてしまっている(台紙の裏まで切れている)場合は、カット圧が強い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ小さな値にしてシートの台紙が切れないように調整してください。



⚠ 注意



使用前にカット圧を調整する。

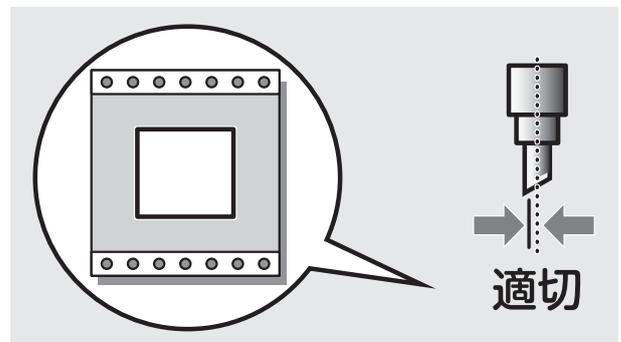
カット圧が強いまま使用し続けるとカッティングツール(刃)の寿命を早めます。
また、シートの台紙までカットしてしまい、故障の原因となります。

オフセット値を設定する

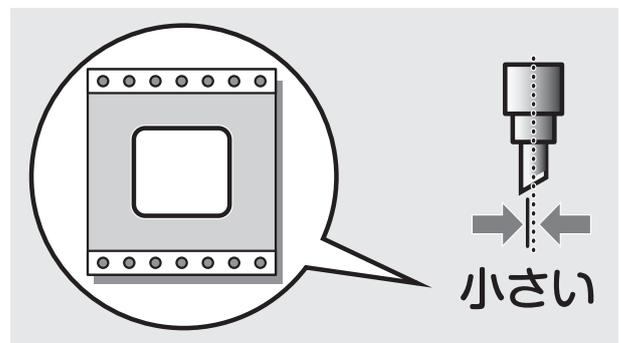
カドがキレイにカットできない場合、オフセット値を変更します。オフセット値は、0.150～0.600mmの範囲で0.025mmずつの設定が可能です。

- 1 Bepop PC EX入力画面で、「ファイル」－「印刷」を選びます。
- 2 印刷ダイアログ画面で、[プロパティ] ボタンをクリックします。
- 3 「出力設定」タブをクリックします。
- 4 [カッタのオフセット] ボタンをクリックします。
- 5 設定値を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

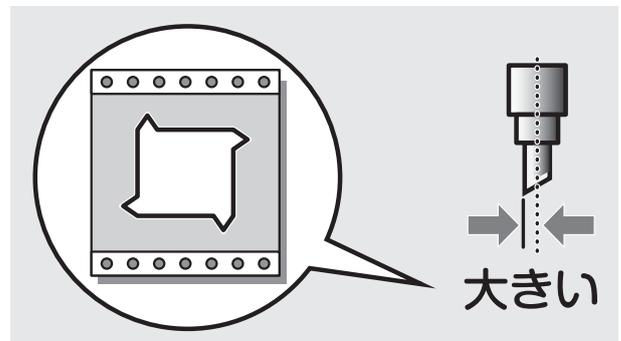
■適切なオフセット値を設定すると、右図のようにカッティングされます。



■オフセット値を小さくすると右図のようにカッティング文字の角の部分が丸みを帯びるようになります。



■オフセット値を大きくするとカッティング文字の角の部分に飛び出しが出るようになります。

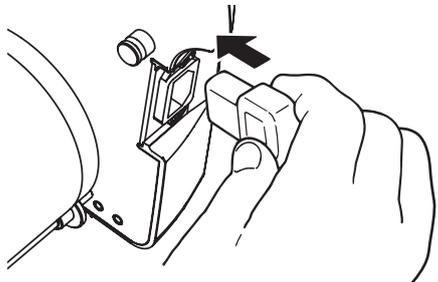


MEMO

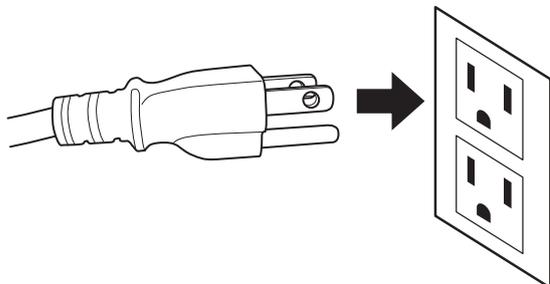
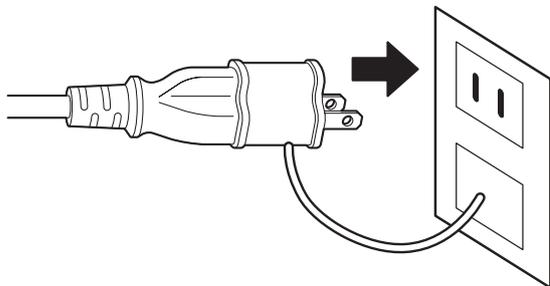
☆設定したオフセット値を次回以降の出力にも活かしたい場合は、「コントロールパネル」－「プリンタ」－「プロパティ」－「詳細設定」タブの「標準の設定」を開いて設定してください。

電源ケーブルをつないで電源を入れる

- 1 電源ケーブルを本体の電源コネクタに接続します。
(シート、インクリボンカセット、刃をあらかじめ
セットします。)



- 2 電源プラグをコンセントに差し込みます。



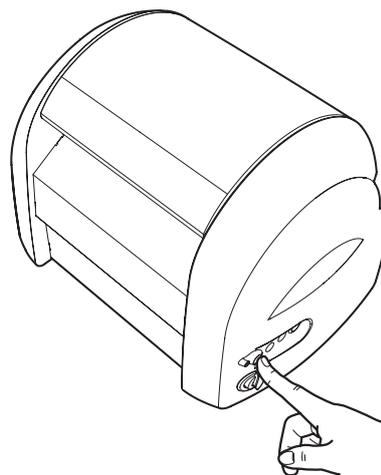
⚠ 警告

- 必ずアース接続を行なってください。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに
差し前に行ってください。アース接続を外す
場合は、必ず電源プラグをコンセントから
抜いて行ってください。

- 3 パソコンと本機を接続ケーブルで接続します。
CPM-200では、USBケーブル、又はLANケーブ
ルでパソコンと接続します。

(「パソコンと本体をつなぐ」参照) → 17ページ

- 4 本体の電源ボタンを押して、電源をONにします。
緑色のランプが点灯します。

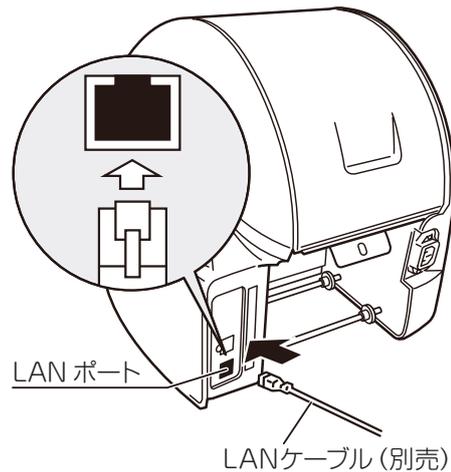
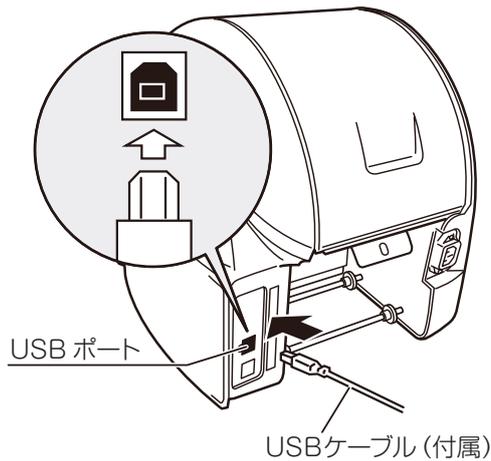


パソコンと本体をつなぐ

- 1 コンピュータ側にBepopPC EX (入カソフト) 及びプリンタドライバが、すでにインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、「ソフトウェアのインストール」を参照してインストールを行なってください。



- 2 本機の側面側にあるコネクタにUSBケーブル (付属) またはLANケーブル (別売) を接続します。



- 3 各ケーブルのもう一方をパソコン側のコネクタに接続します。

MEMO

- ☆ USB 接続で、USB ハブを使用すると正常に動作しない場合があります。その場合には USB ケーブルを直接コンピュータ本体の USB コネクタに接続しておためしてください。
- ☆ 本機1台に USB ケーブルと LAN ケーブル両方を接続して同時に使用することはできません。

お手入れのしかた

印字がかすれたり、連続したスジ状の印字抜けが発生した場合には、アルコールを浸した綿棒で、プリントヘッドを清掃してください。



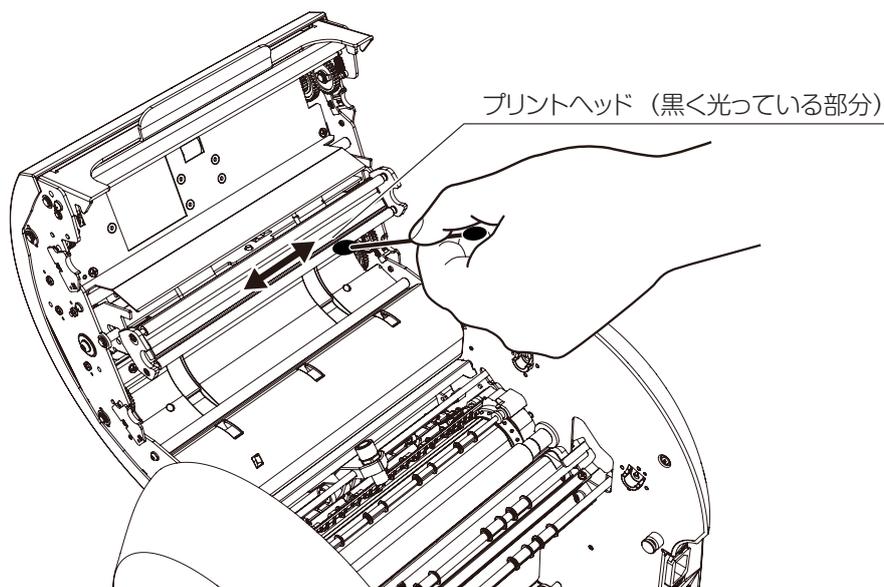
印字かすれ



印字ぬけ

※この作業は、必ず電源をOFFにし電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
また、印刷直後のプリントヘッドは高温になっており、やけどする恐れがあります。
プリントヘッドが十分にさめてから作業を行ってください。

- ①本体の電源をOFFにします。
- ②本体からインクリボンカセットを取り外します。
- ③プリントヘッド（黒く光っている部分）にアルコールを浸した綿棒の先をあてて数回軽く前後させます。



※クリーニングを行っても症状が改善されない場合は、販売店またはサービスステーションに修理をご依頼ください。
※アフターメンテナンスのため、使用したリボンの種類や量、シートの使用量が本体に記録されます。なお、印刷した内容や個人を特定する情報を記録することはありません。

ソフトウェアのインストール

インストール前にお読みください

1. このソフトの著作権は、日本国マックス株式会社にあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
3. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
4. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
5. このマニュアルで作成するサンプルに表示されている団体名、人名は架空のもので実存する団体・個人とは一切関係ありません。

Microsoft, Windows, は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

このソフトを使用できるパソコンについて

以下の条件に適合したパソコンをお使いください。下記以外のパソコンでの動作は保証しかねます。

動作条件	<ul style="list-style-type: none">●対応OS : Windows10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista ※Windows Vista の64bit版/Windows Serverには対応していません。●クロックおよびメモリは、Microsoft社の各OS要件に準じたCPUおよびRAMを搭載し、100MB以上のハードディスク空き容量のある「Designed for Windows」のロゴが表記されているDOS/V機
-------------	---

インストールにあたっての注意点

本ソフト、及びプリンタドライバなどのインストールには、次の制約や注意事項があります。

注意事項・制約事項
<ul style="list-style-type: none">●インストールには「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでのログオンが必要です。●インストール後に再起動します。複数ユーザーでログオンしている場合は、他ユーザーがログオフしてから、管理者がインストールしてください。●ネットワーク（社内LAN/WANなど）に接続してお使いのパソコンにインストールする場合はネットワーク管理者へご相談ください。●必ず、添付のCD-ROMで起動するインストーラを使って、インストール、またはアンインストールしてください。

「Bepop PC EX」とプリンタドライバのインストール

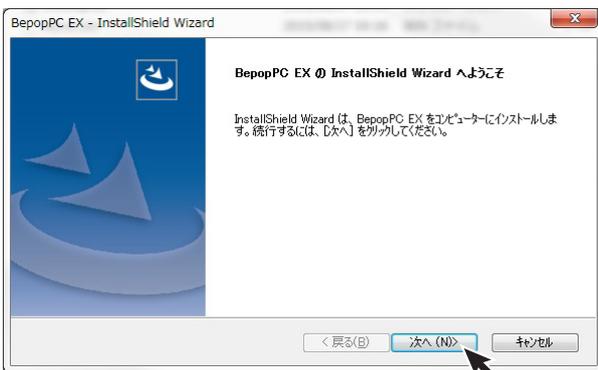
1 起動中のアプリケーションソフトやウイルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。

2 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。ユーザーアカウント制御画面では「続行」をクリックしてください。

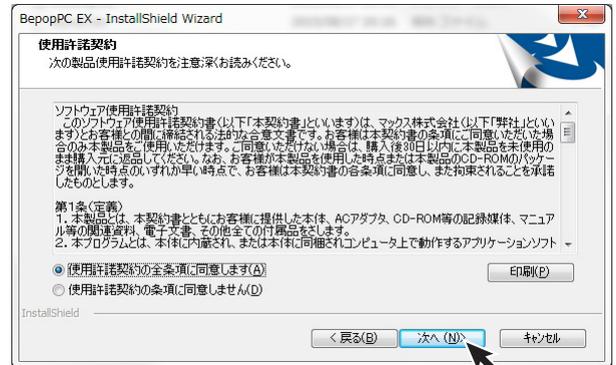
3 「Bepop PC EX」のセットアップメニューが表示されます。[BepopPC EXのセットアップ]をクリックします。



4 [次へ]をクリックします。

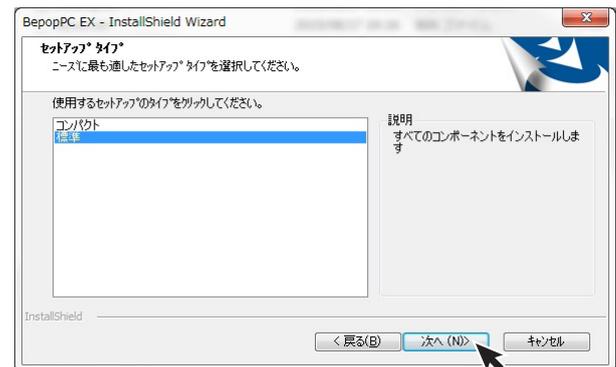


5 使用許諾をお読みいただき、ご同意いただいた上で [次へ] をクリックします。

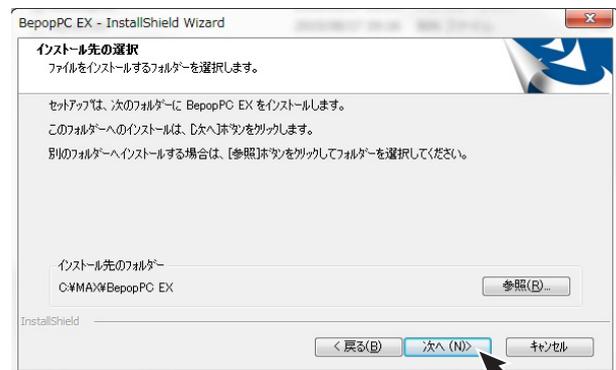


6 「標準」を選択して [次へ] をクリックします。

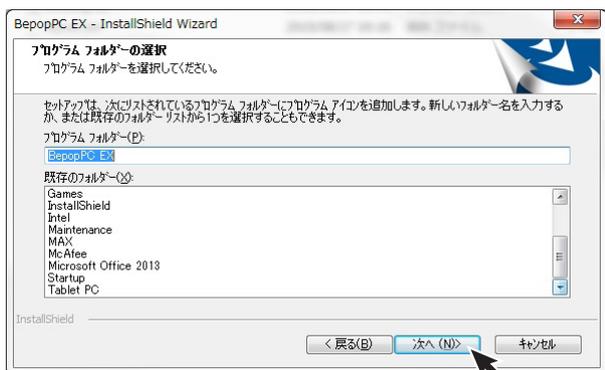
- * 「標準」ではすべてのファイルをインストールします。
- * 「コンパクト」を選択すると、マックスオリジナルフォントを除いてインストールします。



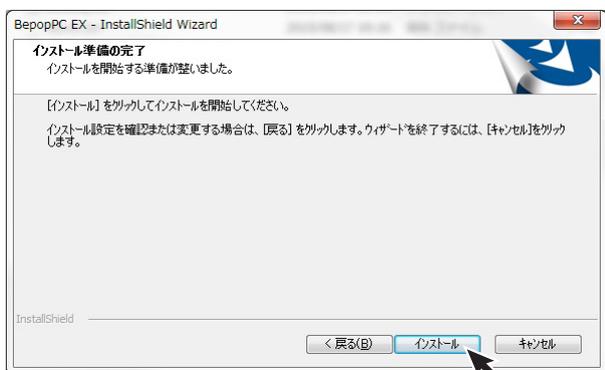
7 [次へ] をクリックします。
(必要に応じてインストール先のフォルダを選択します。)



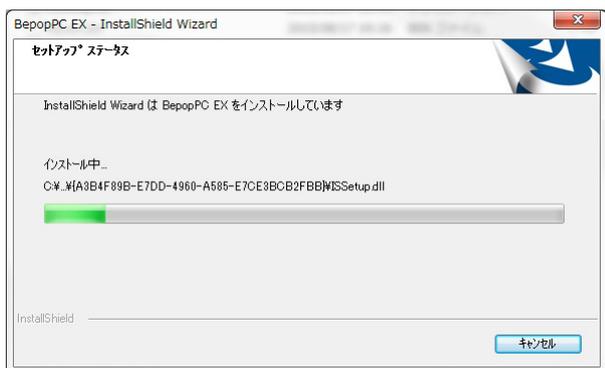
- 8 プログラムフォルダが「BepopPC EX」になっていることを確認し、[次へ]をクリックします。



- 9 [インストール]をクリックします。



- 10 インストールを開始します。



- 11 「今すぐプリンタドライバのインストールをする」がチェックされていることを確認し、[完了]をクリックします。



- 12 「機種一覧」からCPM-200を選択し、[次へ]をクリックします。

※USB接続でインストールする場合は、「次へ」をクリックする前にUSBケーブルでパソコンと本体を接続し、本体の電源を入れてください。



- 13 <USBケーブル接続で使用する場合><LANケーブル接続で使用する場合>いずれかにしたがってインストールを行ってください。



【以降の手順で表示されるメッセージについて】

※以降の手順を進める中で次のようなメッセージが表示されますが、本製品は、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので問題なくお使いいただけます。

メッセージが表示されましたら【インストール】または【このドライバソフトウェアをインストールします】または【続行】をクリックします。

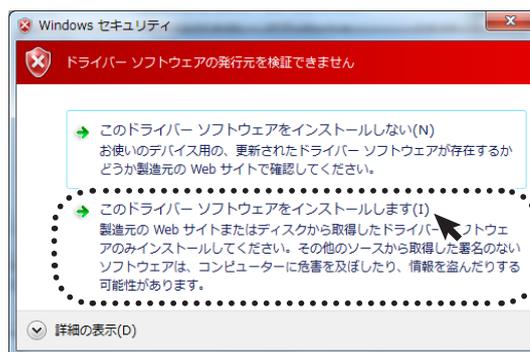
※以下の手順説明ではこのメッセージは省略して説明しています。

※お使いの機種や使用環境によりメッセージの表示内容、表示順が異なる場合があります。

■Windows 10/8.1/8で表示されるメッセージ



■Windows 7/Vistaで表示されるメッセージ



※上記確認画面にて【インストール】または【このドライバソフトウェアをインストールします】または【続行】をクリックするまでの時間が長かったり、USB接続の場合、本体を接続して電源を入れるまでの時間が長かったりした場合、インストールに失敗することがあります。この場合は、一度アンインストールしてから、再度インストールを行ってください。

〈 USBケーブル接続で使用する場合 〉

- 1 USBケーブルにチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。

※USBケーブルは接続したままの状態です。

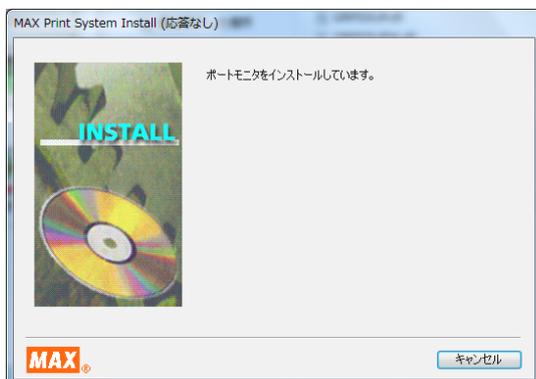


- 2 [インストール] をクリックします。



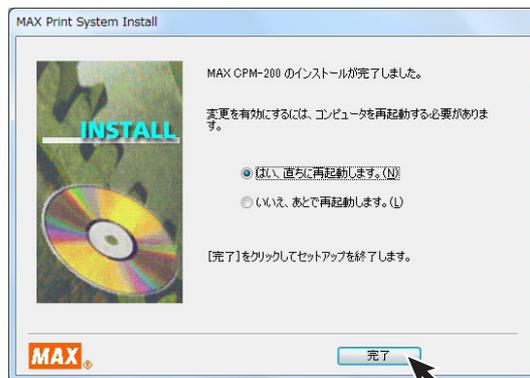
- 3 自動でドライバおよびポートモニタのインストールが始まります。

※ (応答なし) と表示されることがありますが、そのままお待ちください。



- 4 「はい、直ちに再起動します。」 をチェックし、[完了] をクリックします。

※インストール開始時に終了していないアプリケーションソフトがある場合は [いいえ] をクリックし、アプリケーションを終了させた後パソコンを再起動してください。



- 5 再起動後、お使いになれる状態になります。

※再起動しないと「Bepop PC EX」及び本体が正常に動作しません。必ず再起動を行なってください。

〈 LANケーブル接続で使用する場合 〉

- 1 LANケーブルにチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 2 [インストール] をクリックします。



- 3 自動でドライバおよびポートモニタのインストールが始まります。

※ (応答なし) と表示されることがありますが、そのままお待ちください。



- 4 パソコン側のポート名とIPアドレスを設定します。ポート名とIPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

※使用するIPアドレスについてはネットワーク管理者の方にお問い合わせください。

※ここで入力するIPアドレスは、ご使用になるパソコンのIPアドレスの上位9桁(3桁区分3個目まで)とあわせる必要があります。最後の3桁は他の接続機器と競合しない空き番号を割り当てます。

※複数の本体を使用する場合は、異なるポート名と、IPアドレスを設定します。



- 5 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、[完了] をクリックします。

※インストール開始時に終了していないアプリケーションソフトがある場合は [いいえ] をクリックし、アプリケーションを終了させた後パソコンを再起動してください。



- 6 再起動します。

※再起動しないと「Bepop PC EX」及び本体が正常に動作しません。必ず再起動を行なってください。

- 7 この後、プリンタ本体のIPアドレスの設定が必要です。「CPM-200本体のIPアドレス設定」にしたがって設定してください。

CPM-200 本体のIPアドレス設定

CPM-200はLAN接続が可能です。
LANでお使いになる場合はIPアドレスの設定を行います。

LAN接続時の制約事項

CPM-200をLAN接続してお使いになる場合、パソコンへのインストール時にネットワーク管理者にご相談ください。

■ネットワーク管理者の方へのお願い事項

CPM-200はLANに接続してお使いいただけます。
以下にしたがってインストールしてください。

- 本体のIPアドレスなどの工場出荷時の値は、次の通りです。

設定項目	工場出荷時
IP アドレス	192.168.11.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

※次のIPアドレスは設定できません。

- ①0.0.0.0 (全て0)
- ②255.255.255.255 (全て255)
- ③127.×××.×××.×××
(ループバックアドレス群)
- ④×××.×××.×××.255
(サブネットブロードキャスト)

- 本体の設定変更のしかたは「**本体のIPアドレスを設定する**」を参照してください。



- インストール及び使用には「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでのログインが必要です。
- インストール後に再起動します。複数ユーザーでログインしている場合は、管理者のみとし、他ユーザーはログオフしてからインストールしてください。

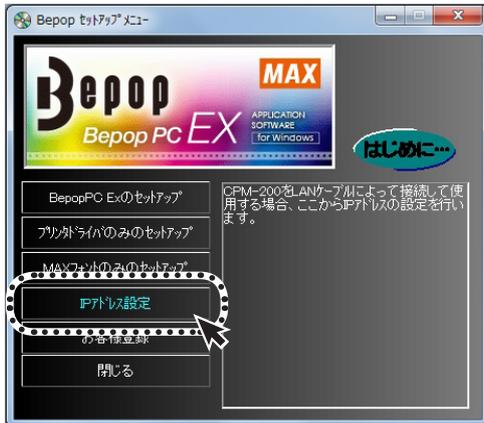
MEMO

- DHCPの自動取得、及びSNMPによる管理には対応していません。
- USB接続でローカルプリンタとしてインストールした「CPM-200」プリンタドライバとは、インストーラを使って共存させたインストールをすることはできません。

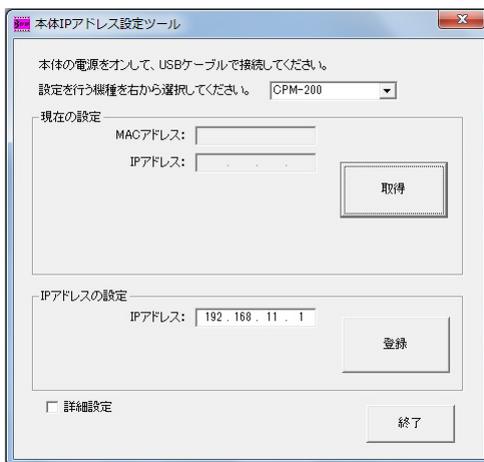
本体のIPアドレスを設定する

※本体のIPアドレス設定は、CPM-200本体とパソコンをUSBケーブルで接続し、本体の電源を入れた状態で行います。

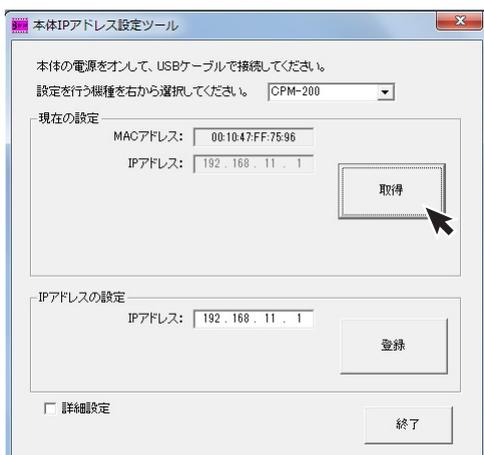
- 1 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
- 2 「Bepop PC EX」のセットアップメニューが表示されます。[IPアドレス設定]をクリックします。



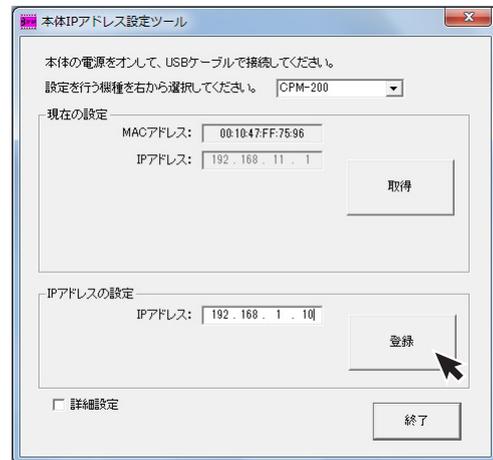
- 3 本体のIPアドレス設定ツールが表示されます。本体の電源を入れUSBケーブルで接続し、設定を行う機種を選択してください。



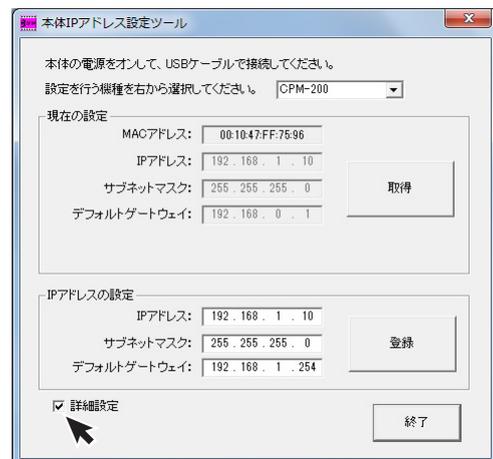
- ※画面にはIPアドレスの初期値が表示されます。
- ※[取得]をクリックすると、現在接続されている機種のIPアドレスを確認することができます。



- 4 IPアドレスを入力し [登録] をクリックします。次に [終了] をクリックすれば本体のIPアドレスの設定は終了です。IPアドレスはプリンタドライバのインストール時に設定したアドレスを入力してください。



※[詳細設定]をチェックすると、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの変更が行えます。



以上で本体のIPアドレスの設定は終了です。

まず使ってみましょう

ラベルレイアウトを作成する

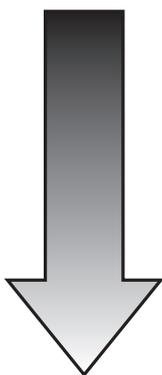
CPM-200を使ったラベルの作成手順を説明しています。

あらかじめ、Bepop PC EX およびプリンタドライバをインストールしてからお試しください。

以下のようなカラフルなラベルを作成してみましょう。



全体の流れ



- 1 Bepop PC EXを起動させる
- 2 シンボル (ピクトサイン) を入れる
- 3 文字を入力する
- 4 カット枠を挿入する
- 5 印刷する

MEMO

☆あらかじめラベルの大きさが決まっている場合は、**2** ~ **4** の手順を逆にしても作成し易いです。

1 Bepop PC EXを起動させる

Bepop PC EXを起動してください。

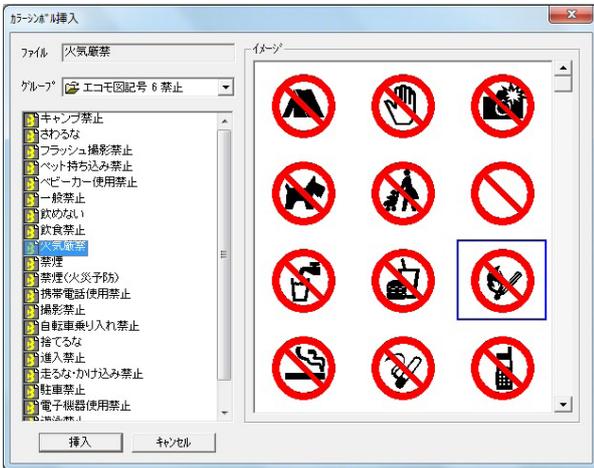
複数機種を使用されている場合は「シート設定画面」が表示されます。

出力機種を「CPM-200」、出力設定を「プリント/ラベル」にして[OK]ボタンをクリックします。

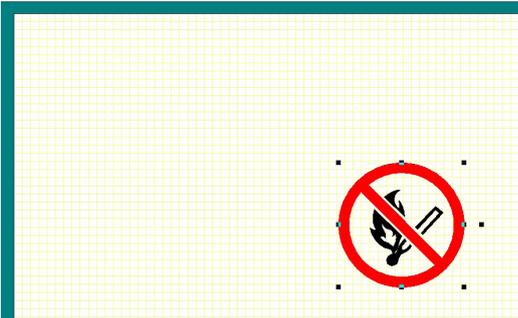


2 シンボル (ピクトサイン) を入れる

- 1  をクリックして“カラーシンボル挿入”画面を開きます。
- 2 グループは「エコモ図記号 6 禁止」、シンボル名は「火気厳禁」を選択します。



- 3 [挿入]ボタンをクリックすると、レイアウト画面にシンボルが貼り付きます。

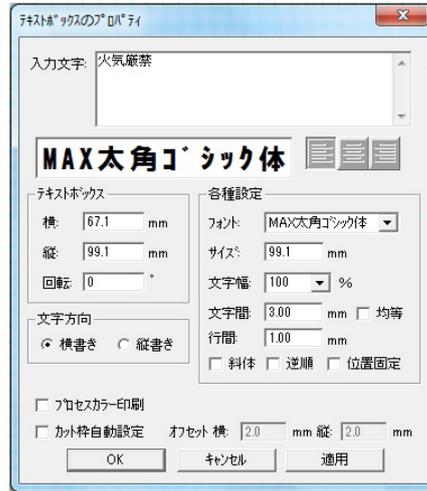


- 4 シンボルのまわりの黒い■をドラッグして大きさやレイアウトを調整します。



3 文字を入力する

- 1 **A** をクリックしてテキストボックスを選択し、文字を書きたい範囲を編集画面上にドラッグします。
- 2 「テキストボックスのプロパティ」が開きます。



- 3 「火気厳禁」と文字を入力し、フォントの「MAX太角ゴシック」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

- 4 画面下部の中から赤色をクリックし、文字に色を設定します。



- 5 手順 1 ~ 3 を繰り返して、「NO OPEN FLAME」と入力して画面下部の色の中から黒色をクリックします。

- 6 大きさやレイアウトを調整します。



4 カット枠を挿入する

- 1 カット枠バーの  (カット枠角丸四角) を選択します。
- 2 カットしたい大きさにドラッグします。
(挿入した後にカット枠をダブルクリックし、直接大きさを入力することもできます)



5 印刷する

- 1 本機にシートとインクリボンをセットします。
- 2  [カラフル印刷] をクリックします。
※単色で印刷を行う場合は、[印刷] ボタンをクリックしてください。
- 3 [印刷/出力実行] ボタンをクリックします。



- 4 CPM-200のステータスマニタが起動し、初期動作後黒部分の印刷が始まります。



- 5 印刷が止まり、シートの巻き戻しが始まった後、ドアカバーを開け、1色目(黒)のリボンカセットをはずして2色目(赤)のリボンカセットをセットします。
(巻き戻しの最中でもリボンカセットの交換は可能です。)
- 6 ドアカバーを閉めると自動で赤部分の印刷を開始し、枠カット、フルカットを行ない、カラフルラベルが完成します。



※作画データにない色のリボンがセットされている場合、以下のメッセージが表示されますので、使用した色のリボンに交換してください。「印刷続行」をクリックするとそのまま印刷を開始します。



シートの残量を確認する

CPM-200のステータスマニタ上で、本体にセットされたシートの残量を確認することができます。出力する長さに対しシートが足りるかどうかあらかじめ確認したり、シートの補充や管理に活用でき便利です。

- 1 パソコン右下の  アイコンをダブルクリックし、ステータスマニタを表示させます。
- 2 [シート残量取得] ボタンをクリックします。シート送り動作を行い残量を取得します。
- 3 おおよそのシート残量が表示されます。



MEMO

- シートの残量は、残りメーター数とセットの状態により、15~30cm程度実際の長さとは異なって表示される場合があります。また、ロールから切り離れたシートは正しく残量が表示されません。

MEMO

ステータスマニタについて

印刷動作中は、ステータスマニタが表示され、印刷の進行状況やセットされたインクリボンの残量、色、シートの残量など、現在のCPM-200の状態を確認することができます。



エラー発生時には、具体的なエラー内容を表示します。(P37参照)
対処方法ボタンを押して表示される対応を行ってください。



印字濃度を調整する

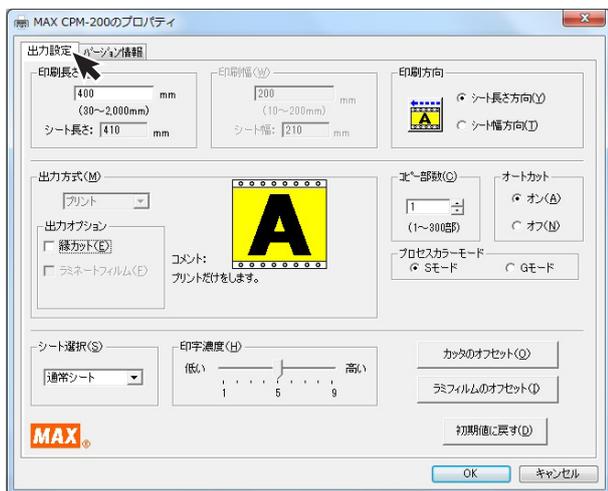
本機で印刷する印字濃度を調整できます。印刷がカスしている場合や小さい文字がつぶれている場合は、パソコン上のプリンタドライバのプロパティで印字濃度を調整してください。

1 Bepop PC EXのメニューバーから「ファイル」→「印刷」を選びます。(印刷アイコンのクリックでも可)

2 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。



3 プリンタドライバのプロパティの「出力設定」画面を表示させます。



4 印刷濃度のスライダーを1目盛ずつ変えて設定し、[OK] ボタンをクリックします。

気温(室温)が高くて、印字物が下図のようになった時は、印字濃度を“低い”へ1目盛ずつ設定を変えてください。



気温(室温)が低くて、印字物が下図のようになった時は、印字濃度を“高い”へ1目盛ずつ設定を変えてください。



5 実際に印刷を行ないながら、適切な設定にしてください。

お願い

☆ 気温の低い場所では印字先端部のインクの転写性が悪くなり、印字品質が劣化する場合があります。
暖かい場所(15℃以上を推奨)でご使用ください。

切り文字 (カッティング) レイアウトを作成し、カットする

CPM-200では、切り文字 (カッティング) も作成できます。

本章ではBepop PC EXの操作と、実際の作業手順をご確認頂けます。

- 1 本体の電源を入れて、Bepop PC EXを起動してください。



「電源ケーブルをつないで電源を入れる」を参照してください。

2 文字を入力する

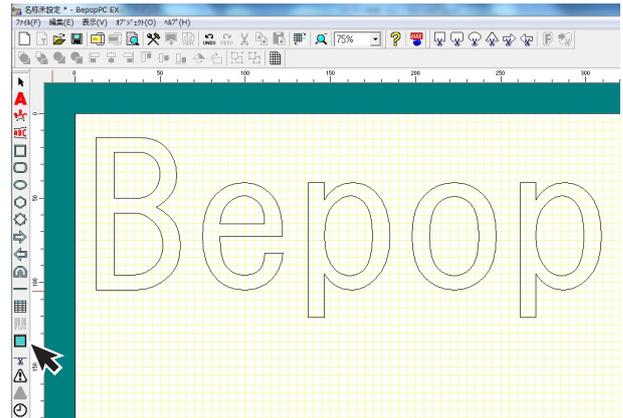
- ① 「ファイル」→「シート設定」でシート設定画面を開き、出力設定のリストから、「カッティング」を選択し、[OK]を押してください



- ② **A** を選択し、編集画面上でドラッグし、プロパティ画面が開いたら、文字を入力します。



- ③ **切** をクリックしてから編集画面上をドラッグし、カス取りがしやすいように文字の周りに枠切りを設定します。



- ④ [印刷] をクリックし、[印刷/出力実行] をクリックすると、カッティングを開始します。



- 3 カットした文字を貼り付けます。

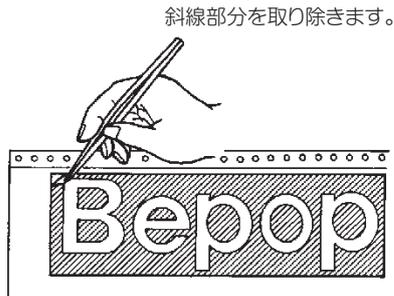


「カットした文字を貼り付ける」を参照してください。

カットした文字を貼り付ける カス取り

文字のカットが終了したら、転写できるようにするために次のような手順で作業を行います。

- 1 文字をカットしたら、文字に必要な部分の取り除き作業を行います。この作業は、シートを送り出し、カットしてから行ってください。

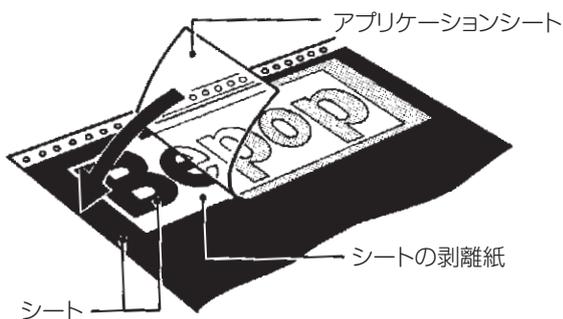


※不要な部分の取り除き作業は、付属のピンセットや市販のカッターをお使いください。

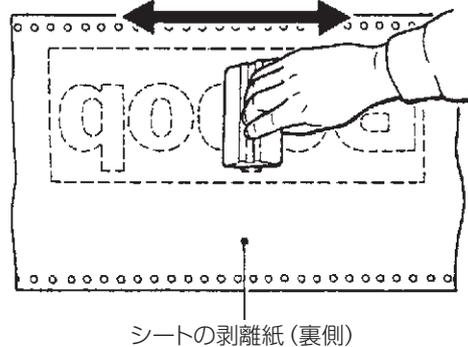
転写

カットした内容のレイアウトのまま張り付けられるように、アプリケーションシートに写し取ります。

- 1 アプリケーションシートを適当な大きさ（枠切りのサイズより多少大きめ）にカットします。アプリケーションシートを剥離紙からはがし、カットした文字の上にしわにならないように貼り付けます。



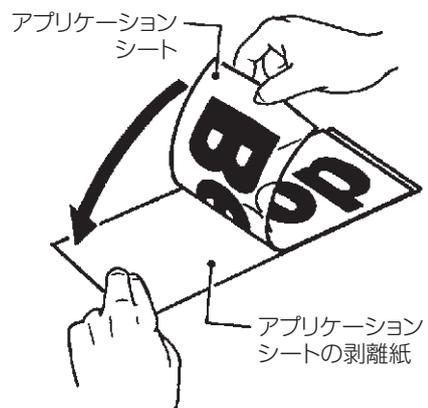
- 2 アプリケーションシートの上から擦って文字を転写します。転写しづらいときは、裏に返してシートの剥離紙側から擦ってください。



- 3 アプリケーションシートを下にしてシートの剥離紙を丸めながらはがし、文字をアプリケーションシートへ転写します。



- 4 そのまま静かに、先ほどのアプリケーションシートの剥離紙の上に乗せ、貼り合わせます。



MEMO

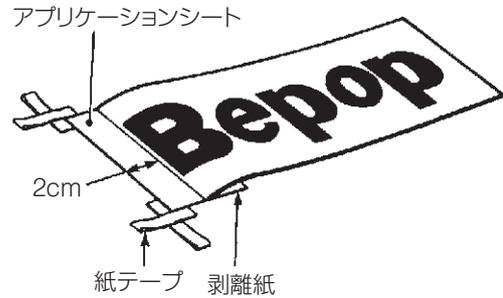
- ☆カット面積の小さい文字の中の部分から取り除くと作業が行いやすいです。
- ☆アプリケーションシートの剥離紙は再度使いますので、捨てないでください。

文字の貼付け

貼り付けるときの注意点は、位置合わせ、気泡の混入、シートの伸び防止（一度伸びると元に戻らない）の3点です。貼り付け方は文字の大小、面積・長さによって、ドライ方式とウェット方式を使い分けることをおすすめします。

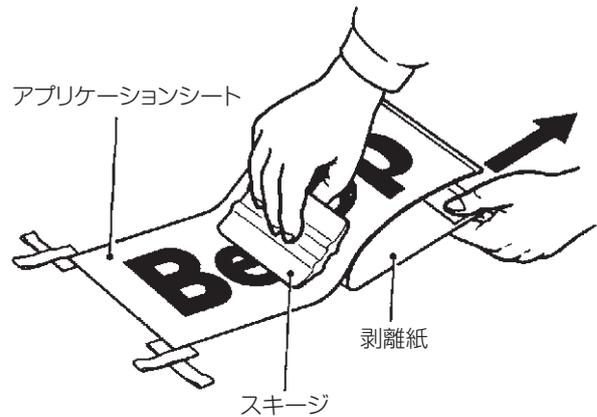
【ドライ方式（長さ50cm以下のとき）】

1 剥離紙を付けたまま、貼り付ける場所に位置合わせし、紙テープで印をつけます。



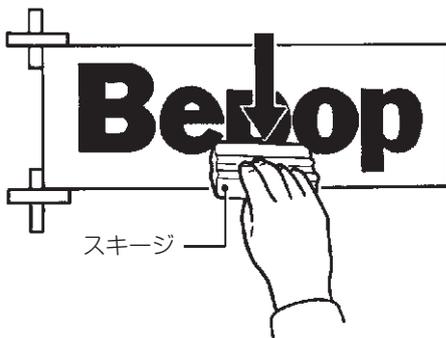
2 一端2cmだけ剥離紙をはがし、裏に折り曲げます。

3 はがした2cmのアプリケーションシートを紙テープの印に合わせて貼り付けます。

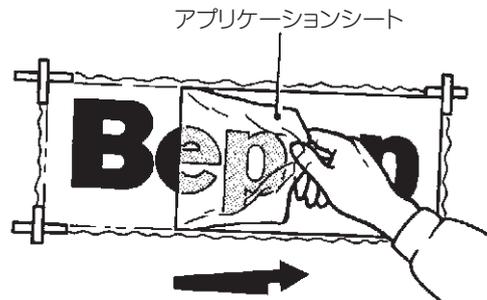


4 はがした2cmの剥離紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を圧着していきます。

5 スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。



6 アプリケーションシートを180度の角度でゆっくりと注意深くはがしてください。

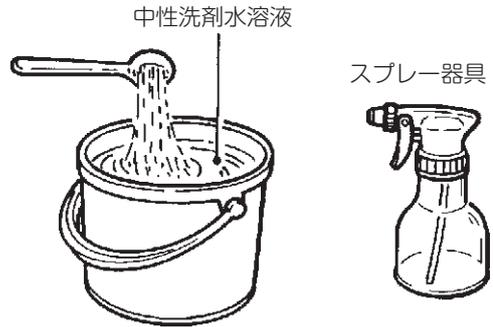


MEMO

☆貼り付けたシートに気泡ができた場合には、針で気泡を潰し中の空気を押し出して圧着してください。

[ウェット方式(長さ50cm以上のとき)]

1 家庭用中性洗剤を4リットルの水にスプーン1~2杯を入れ、よくかき混ぜて中性洗剤水溶液をつくります。

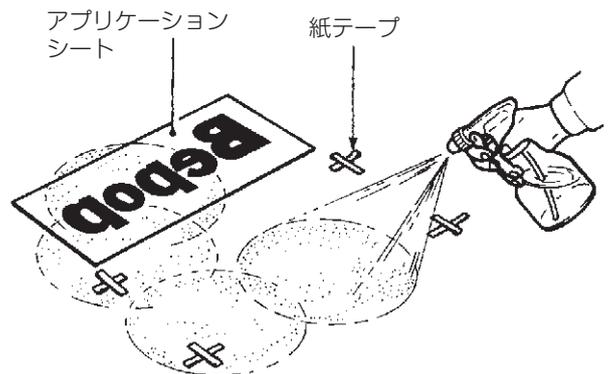


2 作った中性洗剤水溶液をスプレー器具に入れてください。

3 剥離紙をつけたまま、貼り付ける場所に位置合わせをして紙テープで印をつけます。



4 被着面と、アプリケーションシートの剥離紙をはがした接着面に、中性洗剤水溶液をスプレーでまんべんなく吹き付けます。

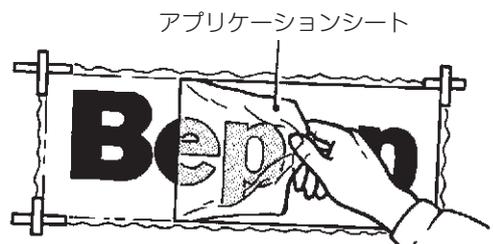


5 アプリケーションシートを紙テープに合わせ、位置を確認します。



6 スキージを中心から端に向かってこすり、中性洗剤水溶液を押し出し、空気を抜きながら圧着してください。

7 アプリケーションシートを180度の角度で、ゆっくりと注意深くはがしてください。



アンインストールの方法

「Bepop PC EX」のアンインストール

アプリケーションソフトをアンインストールするには、次の手順で行なってください。

- 1 起動中のアプリケーションソフトやウイルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。
- 2 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。ユーザーアカウント制御画面では「続行」をクリックしてください。
- 3 Bepop PC EXのセットアップ表示メニューが表示されます。[BepopPC EXのセットアップ]をクリックします。

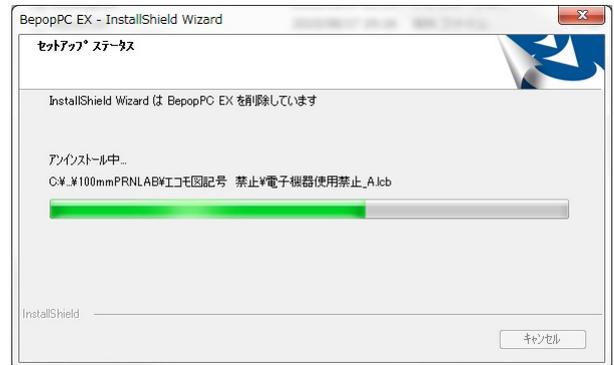


- 4 [はい] をクリックします。

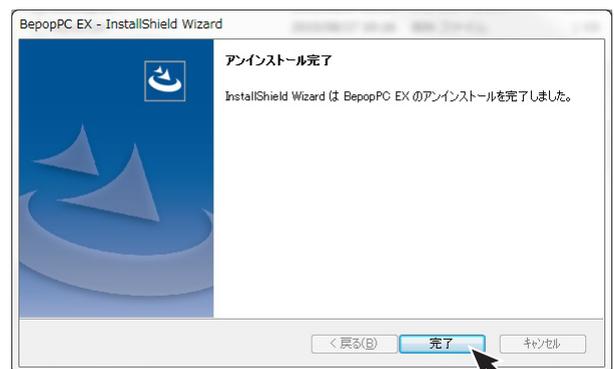
(下記表示はWindows 7/Vistaの場合)



- 5 アンインストールを開始します。



- 6 [完了] をクリックします。
Bepop PC EXのアンインストールが完了します。



※アンインストールをおこなうと、「MAX太角ゴシック体・MAX太丸ゴシック体」の書体も削除されます。

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバのアンインストールを行なうときは、必ず下記手順で行なってください。

【ご注意ください】

- パソコン起動後1度でもBepopで出力している場合は、プリンタドライバをアンインストールできないことがあります。パソコンを再起動してからこのアンインストールを行なってください。
- 他の方法で行なうと、パソコン内に保存されているシステム情報などが削除されず、次のインストールに影響する場合があります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。

2 Bepop PC EXのセットアップメニューが表示されます。
[プリンタドライバのみのセットアップ] をクリックします。



3 [ドライバのアンインストール] をクリックします。



4 CPM-200を選択し[アンインストール]をクリックします。



5 「はい、直ちに再起動します」をチェックし、[完了]をクリックします。



6 パソコンを再起動するとアンインストールは終了です。
※アンインストール後は必ずパソコンを再起動してください。

Bepop-netを利用する

会員制ホームページ <http://www.bepop-net.com/> では、次のようなサービスを無償提供しています。

- 最新ソフトのダウンロード
- シンボルのダウンロード
- 用途のご紹介
- その他

※ご利用は無料ですが、お客様登録をお願いします。
※上記サイトにアクセスし「ユーザー登録」をクリックすると登録画面になります。
※上記サイトの内容は、予告なく変更することがあります。

こんなときは

印刷実行時のPC画面上、ステータスマニタで表示される、エラーメッセージ一覧

エラーコード	エラー表示内容	本体LEDの状態	対処方法	参照	
本体のセッティングに関わるエラー	200	ドアカバーが開いています。	赤点灯	ドアカバーを閉じてください。	P.7
	201	シートがありません。	赤点灯	新しいシートを装着してください。	P.9
	202	シート送りエラーが発生しています。	赤点灯	マックス(株)純正の、商品名の後ろにNのついたシートを装着してください。	P.9
	203	残量検出に必要なシート残量がありません。	赤点灯	印刷に十分な長さのシートを装着してください。	P.9
	311	出力ページと異なる色のリボンが装着されています。xxxリボンを装着してください。	緑点灯	ステータスマニタが指示している色のリボンを装着してください。	P.10
	314	印刷に必要なリボン情報が取得できません。専用リボンが装着されているか、または正しくリボンが装着されているか確認してください。	赤点灯	ドアカバーを開け、インクリボンが正しく装着されているか確認してください。	P.10
	315	リボンの残量がありません。残量のあるリボンに交換してください。	赤点灯	十分残量があるインクリボンを装着してください。	P.10
	—	リボンの残量が少なくなってきています。(2m以下)印刷途中でリボンが無くなってしまう可能性があります。	緑点灯	印刷に十分な残量のインクリボンを装着してください。	P.10
	—	リボンが装着されていないか、専用リボン以外が装着されています。	緑点灯	専用インクリボンを正しく装着して印刷を続行してください。	P.10
	—	装着されているリボン色の印刷データはありません。リボンを交換してください。このまま続けるには、下のリストから印刷する色を選択して[印刷続行]を押してください。	緑点灯	レイアウトに設定されている色のインクリボンを装着してください。	P.10
	—	装着されているリボン色の印刷データはありません。リボンを交換してください。また、リボンの残量が少なくなってきています。(2m以下)印刷途中でリボンが無くなってしまう可能性があります。	緑点灯	十分残量があり、レイアウト上で設定された色のインクリボンを装着してください。	P.10
	—	印刷に必要なリボン情報が正しく取得できないため、正常に出力できない可能性があります。	緑点灯	専用インクリボンを正しく装着して印刷を続行してください。	P.10
	—	特性の異なるリボンが装着されています。正しく色を表現できない可能性があります。このまま続けるには、「印刷続行」を押してください。	緑点灯	通常印刷が設定されたレイアウトに対してプロセスカラーリボンが装着されているか、プロセスカラー印刷が設定されたレイアウトに対し通常リボンが装着されています。印刷設定に合ったリボンを装着してください。	P.8 P.10
—	特性の異なるリボンが装着されています。正常に出力できない可能性があります。また、リボンの残量が少なくなってきています(2m以下)。印刷途中でリボンが無くなってしまう可能性があります。	緑点灯	十分残量があり、印刷設定に合ったリボンを装着してください。	P.8 P.10	
印刷実行時のエラー	400	ドアカバーが開いています。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、ドアカバーを閉じてから再出力を行ってください。	P.7
	401	シートがありません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるシートを装着してから再印刷を行ってください。	P.9
	402	リボンがありません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるインクリボンを装着してから再印刷を行ってください。	P.10
	403	シートの先端を検出できません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、シートを正しく装着してから再印刷を行ってください。	P.9
	404	シート送りエラーが発生しています。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、マックス(株)純正の、商品名の後ろにNのついたシートを装着してから再印刷を行ってください。	P.8 P.9
	405	印刷に必要なシート残量がありません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるシートを装着してから再印刷を行ってください。	P.9

	エラーコード	エラー表示内容	本体LEDの状態	対処方法	参照
印刷環境によるエラー	500	本体を操作中です。	緑点灯	本体の操作が終わった後に印刷を行ってください。	—
	501	プリンタヘッドが所定の温度より高温になっています。	赤点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、ヘッド温度が下がってから電源を入れなおし、再印刷を行ってください。	—
	502	プリンタヘッドが所定の温度より低温になっています。	赤点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、ヘッド温度が上がってから(室内環境が暖かくなってから)電源を入れなおし、再印刷を行ってください。	—
	503	本体がパソコンから受信したデータが異常です。	赤点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、出力先機種の確認を行ってから電源を入れなおし、再度印刷を行ってください。	—
	504	本体がパソコンから受信したデータ量が最大容量を超えました。	赤点滅	レイアウトを確認し、オブジェクトの数を減らしてください。	—
	505	印刷可能範囲内に有効な印刷データがありません。	緑点灯	印刷可能範囲内にオブジェクトを作成するか、プロセスカラーの設定を白色以外の色に変更してください。	P.27
	510	データサイズが処理可能なサイズを超えました。	緑点灯	レイアウトを確認し、オブジェクトの数を減らしてください。	—
	—	ヘッド温度が下がるのを待っています。カバーは開けずにしばらくお待ちください。ヘッド温度が下がったら自動的に再開します。	緑点滅	ヘッド温度が下がるまで、しばらくお待ちください。	—
修理の必要なエラー	600	プリンタヘッドの異常です。	緑赤交互点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおしてください。症状が改善しない場合は修理が必要です。購入販売店、最寄りのサービスステーションまでご相談ください。	P.7
	601	カッタの原点を検出できません。			
	602	ハサミが正常に動作しません。			
	603	ヘッドユニットが正常に動作しません。			
通信エラー	900	本体とPCが接続されていません。	変化なし	USB、LANケーブル、電源コードがしっかりささっているか、IPアドレスが合っているか、タイムアウト時間を変更していないかご確認ください。	P.16 P.17 P.25 P.26
	901	接続はされているが、PCから本体にデータが書き込めていません。			
	902	本体からPCへ応答がかえってきません。			
	903	言語モニターとステータスモニター間の通信がうまくいきません。		ドライバの再インストール、PCの再起動を行ってください。	P.20

その他のトラブル

	症状	ご確認ください	対処方法
Beppop PC EX-1 関連トラブル	ファイルの上書きができない。	管理者権限以外の使用者が自分が作成したファイル以外のファイルを上書き保存する事はできません。	名前を変えて保存するか、管理者でログインしてください。
	印刷できたりできなかつたりする。	「プリンタドライバのプロパティ」-「詳細設定」のタブを開き、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」に設定されていますか	「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」及び「すぐに印刷データをプリンタに送る」に設定されているかご確認ください。
	カラフル印刷ができない。	2人以上のユーザーでログオンした状態でカラフル印刷を行っていますか。(リボン交換のメッセージが使用していないユーザー画面に表示されてしまいます)	カラフル印刷を行う場合は、ログオンユーザーを1名に限定してお使いください。
ドライバ・接続に関するトラブル	印刷ができない。	ステータスマニタが表示されない場合は、右記対応ページをご参照ください。ステータスマニタにエラーコードが表示されている場合は、P.38~40【 エラーメッセージ一覧 】をご参照ください。	P.42【ステータスマニタが表示されず、印刷できない】を参照してください。
	インストールしようすると、「GRPSSUP.DLLが不正です」と表示されてインストールできない。	お使いのPCのOSをご確認ください。	Windows Vistaの64bit版には未対応です。32bit版でお使いください。
	「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない。	P.41【 「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない 】を参照してください。	
	アンインストールもインストールもできない。	印刷ジョブが残っていない場合は、右記対応ページをご参照ください。	P.41【 アンインストールもインストールもできない(印刷ジョブが残っていない場合) 】を参照してください。
	LAN接続でプリンタが認識できない。	プリンタ本体のIPアドレスは設定されていますか。プリンタ本体側もIPアドレス設定が必要です。詳細は右記対応ページをご参照ください。	P.25【 CPM-200本体のIPアドレス設定 】を参照してください。

プリンタドライバのインストールに関するトラブル

■インストールしようすると、「GRPSSUP.DLLが不正です」と表示されてインストールできない

Windows Vistaの64bit版には未対応です。
32bit版でお使いください。

■「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない

- 1 パソコンを再起動します。
- 2 P37「プリンタドライバのアンインストール」に従って、ドライバのアンインストールを行います。
- 3 パソコンを再起動します。
- 4 ウイルス対策ソフトが動作している場合、終了させます。
- 5 P20「『Bepop PC EX』とプリンタドライバのインストール」に従って再度インストールを行います。

■アンインストールもインストールもできない場合 (印刷ジョブが残っている場合)

- 1 「スタート」→「プリンタとFAX」を表示しMAX CPM-200のアイコンをダブルクリックします。
- 2 ドキュメントが残っていた場合は、「プリンタ」→「すべてのドキュメントを取り消し」を行います。
- 3 再度、アンインストールを行います。

■アンインストールもインストールもできない場合 (印刷ジョブが残っていない場合)

- 1 P20「『Bepop PC EX』とプリンタドライバのインストール」に従って機種選択まで進みます。
- 2 ShiftキーとLキーを同時に押しながら、「次へ」をクリックします。



- 3 パラレルケーブルにチェックし、「次へ」をクリックしてください。



- 4 「インストール」をクリックします。



- 5 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、「完了」をクリックしてパソコンを再起動します。



- 6 P37「プリンタドライバのアンインストール」に従って、ドライバのアンインストールを行います。
- 7 パソコンを再起動します。
- 8 ウイルス対策ソフトが動作している場合、終了させます。
- 9 P20「『Bepop PC EX』とプリンタドライバのインストール」に従って再度インストールを行います。

ステータスマニタが表示されず、印刷できない

ドライバのインストールは、正常に終了したが、印刷時にステータスマニタ（インクの残量やプリンタの状態を表示するウィンドウ）が表示されない。また、タスクバー（通常は画面右下のアイコン）に標準プリンタのアイコンが表示されて、CPM-200のアイコンが表示されない。

CPM-200のアイコン 

原因

ステータスマニターが起動していないか、ドライバのインストール中で同時に行っているステータスマニタのインストールに失敗してしまう為です。失敗の原因はウイルススキャンソフトの動作等の影響が考えられます。CDからのファイルのコピー自体は完了しています。

対処方法

1 症状の確認

「スタート」→「コントロールパネル」→（「パフォーマンスとメンテナンス」）→「管理ツール」→「サービス」から、サービスのウィンドウを開きます。

※()内は、コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

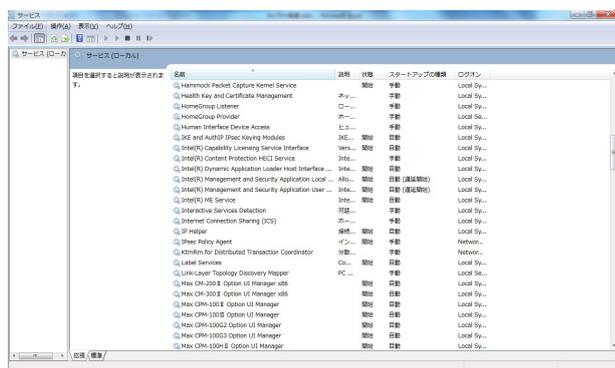
名前のあるところに

MAX CPM-200 Option UI Manager

があるか確認します。

名前のない場合はこの症状に該当します。

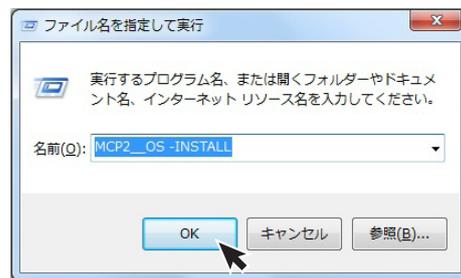
※名前がある場合は、状態が開始になっているか確認します。停止している場合は、右クリックで開始をクリックして完了です。



2 管理者権限（アドミニストレーター権限）でログインしているか確認します。

3 ウィルス対策ソフト（ウィルスバスターなど）が動作していないか確認します。動作しているときは、終了させます（停止では不十分です。必ず終了させます。）

4 手動でのステータスマニタのインストールを行います。「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択します。



上記のように名前の欄に

MCP2 OS -INSTALL

アンダーバー 半角スペース ハイフン

と入力し、OKボタンをクリックします。ステータスマニタがインストールされます。

（注意 すべて半角文字で入力してください。）

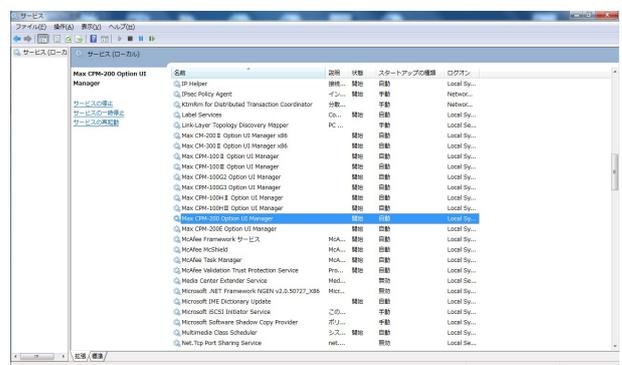
※ここでエラー（ファイルがありません）が表示される場合は、上記名前の欄の入力の誤りが考えられます。

5 確認方法

1の症状の確認で表示したサービスの中に

MAX CPM-200 Option UI Manager

があるか確認します。



状態：開始 スタートアップの種類：自動

となっていれば、ステータスマニタのインストールが完了です。（サービスのウィンドウを開いたまま手動インストールを行った場合は、表示の更新を行ってから確認してください。）

ここで表示が出ない場合は、再起動後、2、3を行い、ドライバのアンインストールを行います。

再起動後、2、3を行い、通常のインストールを行います。

通常のインストールで失敗した場合は、4の手動インストールを行います。

6 完了後、再起動を行ってください。

ご不明な点は下記へお問合せください

会員制ホームページ：<http://www.bepop-net.com/>

ご利用は無料ですが、お客様登録をお願いします。

同サイトにアクセスし「新規登録」をクリックすると登録画面になります。

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200**

「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容是对応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03) 3669-8108(代)
支店・営業所			
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011) 261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022) 236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03) 3669-8141(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052) 918-8620(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06) 6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082) 291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092) 411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019) 621-3541(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL(054) 205-3535(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099) 269-5347(代)
販売関係会社			
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048) 651-5341(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087) 866-5599(代)
マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)			
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011) 231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022) 237-0778(代)
東京サービスステーション	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL(042) 548-5332(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052) 918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06) 6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082) 291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092) 451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

N158N